

令和2年度第1回地域包括ケア事例研究会プログラム

日時／令和2年9月18日(金) 13時00分～17時00分

場所／さいたま新都心合同庁舎1号館 1階 多目的室

時間	内容	説明者等
13:00～13:25	受付	
13:25～13:30	開催にあたっての留意事項等の説明	事務局(司会)
13:30～15:05	【第1部 講義等】	
	開会挨拶	関東信越厚生局 健康福祉部 地域包括ケア推進課長 金子 雄一郎
(25分)	講義1: 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応等について	厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課 地域づくり推進室 室長補佐 田中 明美
(30分)	講義2: 新型コロナが介護現場や住民に及ぼした影響と地域包括ケアの推進に向けた当大学の取組	公立大学法人 埼玉県立大学 大学院 保健医療福祉研究科 研究開発センター 教授 川越 雅弘
(30分)	講義3: コロナ禍における住民の工夫と取り組み～つながりを続けるために～	公益財団法人 さわやか福祉財団 新地域支援事業 ふれあいの居場所推進プロジェクトリーダー 時間通貨推進プロジェクトリーダー 理事 鶴山 芳子
	グループワークに関する説明等	事務局(司会)
10分間	(休憩)	
15:15頃～16:20	【第2部 意見交換】	
(60分)	グループワーク	
	①「リーダー(司会)」と「書記兼発表者」の決定	
	② 自己紹介・参加者自身の取組と課題を1人2～3分	
	③ 各テーマについて意見交換	
	④ 報告取りまとめ	
(5分)	ホワイトボードの保存・グループの解除	
16:20～17:00	【第3部 発表等】	
(30分)	各グループの発表	
(10分)	先生方から、まとめのコメントをいただく。	
17:00	閉会	

※ 会場は終了しますが、18時頃まで、ZOOM会議を残しますので、ご自由にご歓談ください。